

平成 26 年度 ハッピードウン II 第 1 回運営推進会議

平成 26 年 4 月 21 日

記録 齊藤

参加者	福祉課福祉施設係課長	阿部様
	介護プランセンターしゃきょう	氷見様
	緑町 町内会長	首藤様
	町内副会長	松木様
	なるかわ病院 医療相談員	太田様
	ご家族様	岡様
	スタッフ	中村・吉田・齊藤

中村：お買いものバスについて、今年や去年も含めて運行状況を説明させていただきます。

吉田：まず、お買いものバスが始まったきっかけになったのは、平成 23 年 3 月 1 日に七飯町のアンケート結果が広報に乗っていた中で、買い物や足の不自由な方、不便と感じている方がおり、そうゆうお買いものを支援出来ればという事で、町内会にお買いものバスについてアンケートを取った所、約 400 世帯中、約 50 名がお買いものバスはあった方が良いと結果でた。その結果をもとに町内会の会長さん方と相談し、月曜日は魚町、火曜日はラルズと決めた。平成 23 年は夏場にまず実施し、8 月、9 月、10 月と 3 ヶ月間で総運行日数 27 日、総利用者数 71 名あった。その際に、冬場の方が足元も滑るし、重い物も持てないし冬場にあった方が便利という声が聞かれ、同じく平成 23 年度 12 月、1 月、2 月と 3 ヶ月間運行で総運行日数 12 日、総利用者数 37 名。その後、冬場の方が利用者数が多かったので、平成 24 年には冬場のみの運行になり、12 月、1 月、2 月で運行した。総運行日数 12 日。総利用者数 45 名。平均すると、1 回で 3.7 名の利用があった。その後、今回の平成 25 年度に続くが、25 年は 12 月、1 月、2 月、3 月と運行し、総運行日数 16 日。総利用者数 51 名。1 回の平均が 3.1 名。燃燃料費に関しては、魚町は往復 4.1 km、で 312 円。ラルズだと往復 3.2 km で 243 円。今回は冬場だけなので、全て含めまして 2820 円の経費がかかった事になり、その中でさらにスタッフ 2 名同行していくと 3525 円。それを 4 ヶ月間運行したので 14100 円という数字が出た。あと、お買いものバスを使ってみた利用者の声としては、「今までタクシーを使っていたので、助かる」

「今までは、帰りの荷物のことを考えて重いものが買えなかった」

「無料だと、恐縮するため、お金を取ってほしい」

「役場や他の場所（ホームセンター、薬局など）にも行ってほしい」

どうしても、魚町の方が人数少なくて、ラルズの方が人数多かたりするので「人数が少ないと利用しづらい」という声も聞かれた。あと、停留所を決めていたが、停留所まで行くのが大変なので「自宅までのお迎えにしてほしい」「冬場の実施を希望」の声が聞かれて

います。1番利用が多かったのは平成24年度。利用登録人数8名の中で2週間に1回、月曜日・火曜日と運行し1回の平均が3.7名。その日によって電話連絡等で来れなくなったというのもあったので、その点も人数に左右していると思いますが、そのような結果になっている。

中村：3年間実施してみて、伸び率が増えない。いつも同じ人ばかりで伸びていないのはなぜか？松木さんどうでしょうか。

松木様：町内会でもアップル温泉に週何回か行っているがだんだん、利用者減った。亡くなったり、病院行かなきゃないとか。今、登録8名で1日4~5名の方が利用している。実施して5年になるが年齢上がってきているし、やっぱり出るのがおっくうだとか、介護が必要になってきて、不安だとか、年齢的な部分での減少。やっぱり、年齢重ねてくるとそうゆう気持ちになってくると思う。

首藤様：七飯町は高齢化激しい。緑町も平成24年8名亡くなった。平成25年は18名亡くなってる。やってる内容をもう少し周りに広めていかないと、増える事はない。減少してばかりになってしまう。

中村：ヘルパーで買い物利用している人は多いんですか？

氷見様：基本的にヘルパー利用の方は、認定受けてご家族と同居してない方。介護保険始まった時から比べると利用する人減ってきている。生協のトドック等の配達が増えてきているのでそれを利用する人が増えている。配達だと頼んだものがすぐに届かないという事もあるので、その点はヘルパーにお願いしていると思う。

松木様：買い物もそうだが、外出する楽しみもあり、使用している方もいると思います。

中村：買い物だけではなく、外出支援、安否確認も大事。続けるべきなのか？止めるのではなく、もう1回基礎を作りなおし。作り直すというのは、やっている事はけして無意味な事ではないと思う。ただ自己申告で来て頂いてやっているが、今は国でもテレビでもやっているが、防災計画について。役場では作れないが、防災が起きた時に高齢者の把握、どこに地域に要介護何人いるとか、独居世帯は何世帯あるか等を調べ、民間、市町村に資料提供できるようなマップ作り。警察では良く調べている、どこのアパートに何人住んでいるとか。住民調査している。認知症の方で身元不明な方も沢山いるし、今NHKのテレビですごくやっている。どこに誰が住んでいて、最近見えないんだよねというのが欠けてきているし、個人情報に邪魔している。支える人も高齢になってきているので、どこに誰

が住んでいるかの把握が必要だと思います。なるかわ病院さんでも、家族が誰かわからないという方もいるんじゃないですか？そのような現状が今日の前に来ている。そういう事をはじめていきながら、何をニーズとして必要なのか考えていければと思う。ここの緑町の施設は平成15年12月にオープンして10年たったので利用者も最初の頃よりは機能的にも落ちてくるし、設備も今改修しようかなと考えている。

首藤様：逃げる時はどこに逃げるか、逃げた先が危ないという状況が多い。平屋は安心ですよね。いざ、事故起きたらどこに誰が住んでいるか、リーダーが声をかけて、しくみや近所に声掛け等の誘導資料を作るとスムーズ。行政にやって下さいと言っても、やってもらえない。

中村：介護保険や利用者の把握。自分達は利用者はどうあるべきなのか、行政に特化するのではなく、介護事業として思いがひとつになる事を進めていくのが必要だと思う。

氷見様：在宅介護センターで地域住民の把握をしている時期もあった。大沼、大川、本町、大中山等の地域で地区の職員が自宅へ伺い、誰がどこにいるのかという把握をしていたが平成18年に廃止になっている。それを引き継ぐ機関が、介護保険が主体になっていたのになかった。結果、どこに誰がという情報は事業所は知っているけども、それをまとめる機関というのに繋がらなかった。包括支援センターもものすごく多忙だということもあり、そこまでの業務に至らなかった。このあとどこがやるかって考えた時にどこがやるというよりは、皆で協力してやっていかなければならないのかなと思う。行政が主となってる中で声をかけてもらえればなと思って聞いていた。

中村：七飯町は取りまとめる機関がない。弁当配食、地域ケア会議から専門職が集まっていながら、どうするべきか、こうしましょうという意見が出てきて当たり前。それが生かされていない。やっぱり、取りまとめる機関がどこにもないというのが問題。独居世帯の把握で命のバトンをやっている所もある。首藤さんにも町内会として町に言ってもらいたい。町内会の高齢者の把握や独居世帯等のマップみたいのが出来れば防災とか、色んな事にも繋がる。こうゆうGHだったり、色んな事業所さんを含めて、高齢者に何が必要なのか考えていかないとならない。地域ケア会議は定期的にやっているけど何を話しているのか。

氷見様：町でやってる、移送、食事介護、着替え等のサービスの受付、窓口、審査を包括支援センターの職員が主となってやっている。困難なケースについての相談員、NSからの助言だったりをする事もある。参加出来るメンバーは多いはずだが、実際に参加している人数はひとかたまり。話す内容ももっと活性化していければ。

松木様：町内会も変わっていかないといけない。ここ1~2年感じる事は全体の行事が少ない。役場、社協との関連でやっているものもある。1から根本的な見直しが必要だと思っている。

中村：それが1つになれば良い。町内会も補助があるからやっている。細かく福祉の考え方について話し合っていきたい。行政が音頭（きっかけ）を作ってくれればありがたいし、やりやすい。

松木様：これからどうするのか。1年間の間に目的を作って形にする。七飯町は施設が充実している。各エリアに分かれて、色々な人が活かしあってまとめていくのが大事だと思う。

中村：お買いものバスについても、1度辞めてみる事でもっとこうすれば良いとか出てくるかもしれない。継続する事も大事だが、検証する事も大事。全くやらないという訳ではない。また、バスをやる為にはしっかり仕組みを作って、何で辞めたのかこれが本当に必要となると思う。

首藤様：惰性でやっても仕方ない。もう1回振り出しに戻って考える事も必要だと思う。高齢者の方が把握できていれば、あたたかみに触れた事例。地域でも状態把握が出来ていない事に気付いた。地域がかみ合っていない。違う職種が向き合って色々な人の意見を聞き、何が困っているのか知りたい。

中村：やらないという訳ではない。ニーズが出てきたり、ご相談頂ければまた検討します。まず、行政、地域の基礎作り。1度辞めて見直すのもありかなと。

阿部様：高齢者だけではなく、障害者の把握も必要だと思う。障害者のGHもあるし。

中村：これから、私たちは、町内会にどのように、どのくらい働きかければ良いのか、考え、何をやらなければならないか、何が必要か具体化していく必要があると思う。よろしくお願いします。